

# Team 山 商



## 祝 全国高校総体 競泳女子 100m背泳ぎ 優勝！！

北信越5県を中心に繰り広げられた全国高校総合体育大会（インターハイ）において、競泳女子100m背泳ぎで本校1年の長岡愛海さんが見事優勝しました。競泳競技は8月17～20日にかけて長野市アクアウイングで行われました。18日に実施された100m背泳ぎで、予選をトップ通過した長岡さんは、決勝では自己ベストタイムの1分1秒19をマークして日本一に輝きました。

日本の頂点に立つためには、想像を絶する困難な道を通らなければたどり着けないものだと思います。それを成し遂げた長岡さんの素晴らしい快挙に対して、学校を挙げて祝福しようと8月下旬に放送による優勝報告会を開催しました。

また、9月9日には、指導を受けている山形ドルフィンクラブのコーチや校長とともに山形市役所を訪れて、佐藤孝弘市長に全国優勝を報告しました。その際、「来年は200mとの2冠を達成し、3年後のパリ五輪につなげたい」とさらなる飛躍を誓いました。佐藤市長からは、「今後も精進してさらに高いレベルの泳ぎを見せてほしい」と激励を受けました。



## 全国高校総体 レスリング個人5位・陸上女子6位入賞！



「北信越総体2021」に総勢43名の大選手団（県内高校2番目の規模）を送り出した山商。出場した選手の皆さんはそれぞれの競技で大活躍しました。

8月21～24日にかけて福井県おおい町で開催されたレスリング競技では、全国の強豪が集まる男子個人戦において、92kg級の大浦響くん（3年）がタックルと投げを駆使した見事な戦いで勝ち進み、見事5位入賞を果たしました。新型コロナの影響で制限がある中での練習でしたが、日々の練習を大切にできた結果となりました。「本大会で見つけた課題を克服して今後に生かしたいです。」と頼もしく話してくれました。

同じく7月28～8月1日にかけて福井県営陸上競技場で行われた陸上競技には、男子やり投、女子100m、女子100mハードル、女子800m、女子4×400mリレー、女子三段跳にそれぞれ出場しました。女子100mハードルに出場した高橋亜珠さん（2年）が13秒75の自己ベストタイムで見事6位入賞を果たしました。次年度への飛躍が期待される活躍でした。



## 産業調査部 東北生徒商業研究発表大会5連覇達成！

8月21日、第25回東北六県高等学校生徒商業研究発表大会が青森市の県総合社会教育センターで開催され、本校産業調査部が優勝し見事東北大会5連覇を達成しました。

今大会は、コロナ禍による状況から人数制限などいくつかの変更点があり、10人で出場しなければなりません。産業調査部の伝統ともいえる発表スタイルを披露するために必要な人数を削られることになり、パワーポイント、台詞練習、小道具など、大会の数日前まで修正を加えながらの出場となりました。生徒たちは、「優勝するという強い気持ちをぶれずに持ち続けてきたからこそ、困難があっても、最高のパフォーマンスと優勝を成し遂げられたのだと思う。」と語っていました。

さらに生徒たちは、「一時は開催されるかどうか危うい状況になりながらも、感染対策を徹底した会場を準備いただいたことで、安心して大会に参加できたことに感謝します。また、日頃から応援し

てくださる地域の皆様、新しい試みとして挑戦したInstagramのフォロワーの皆様、学校の先生や友達からの温かなお言葉と共に期待を込めて青森へ送り出してもらい、大きな勇気をいただきました。」と、大会関係者の皆様、応援していただいた多くの方への感謝の気持ちも忘れていませんでした。

「東北大会優勝は、私たちにとって通過点です。さらに高みを目指して研究に励んでいきます。」と、力強く決意を述べてくれました。11月に開催される全国大会でのさらなる活躍を期待したいと思います。



## 1年7ヶ月ぶりに全校生が一同に会する！避難訓練実施

爽やかな秋晴れの下、火災を想定した防災避難訓練を9月15日に実施しました。事前に配布したプリントに記載されている避難の心得がきちんと守られており、避難場所であるグラウンドに安全を確認しながら速やかに移動する様子がみられ、十全な訓練を行うことができました。

また、全学年が一堂に会したのは、なんと約1年7ヶ月ぶり。今年度も様々な行事等が中止や延期を余儀なくされている中、グラウンドに全校生が整列している姿をみて胸に迫るものがありました。一日も早く日常生活を取り戻すためにも、今後も引き続き一人一人が感染予防の徹底に努めていきましょう！

